



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月14日

上場会社名 株式会社ZOA 上場取引所 東
 コード番号 3375 URL <https://www.zoa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 伊井 一史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 安井 明宏 TEL 055-922-1975
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	2,025	△17.0	97	△22.0	100	△21.6	67	△23.1
2025年3月期第1四半期	2,440	22.4	124	△9.4	127	△8.9	87	△9.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	53.73	—
2025年3月期第1四半期	70.03	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,107	2,915	57.1
2025年3月期	5,423	2,933	54.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 2,915百万円 2025年3月期 2,933百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		0.00	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,370	△2.2	217	15.0	217	13.1	143	7.7	113.86
通期	9,000	△3.0	470	9.7	470	8.2	320	7.7	254.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	1,454,000株	2025年3月期	1,454,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	198,167株	2025年3月期	198,167株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	1,255,833株	2025年3月期1Q	1,253,233株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や政策支援により、緩やかな回復基調が継続しました。一方で、海外経済の不確実性や物価上昇の影響により、個人消費には一部弱さも見られました。

このような状況下で当社は、主力の小売事業におけるパソコン事業に関しては2025年10月14日に控えるWindows 10のサポート終了に伴う買い替え需要をしっかりと実績に結び付けられるように、サポートやリユースパソコンの拡充を実施し、専門店としてお客様の様々なニーズにお応えできる展開を実践いたしました。これらの効果により、パソコン事業の売上高は前事業年度を上回る実績で推移しました。

一方、不動産事業においては、当第1四半期に見込んでおりました不動産販売が7月以降にずれ込むこととなり、売上高の上積みができませんでした。当上期に売上計上を行う見込みであります。

これらの結果、当第1四半期累計期間の業績については、売上高2,025,467千円(前年同期比17.0%減)、経常利益100,011千円(前年同期比21.6%減)、四半期純利益67,469千円(前年同期比23.1%減)となりました。

売上高・利益の前事業年度からの減少分については、Windows 10サポート終了に伴う買い替え需要と前述の不動産売上を計上することで、当上期決算時には業績予想通りの売上・利益を計上する見込みであります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1. 小売事業

小売事業全体の売上高は2,019,077千円(前年同期比0.6%増)となりました。各事業の実績は次のとおりであります。

(パソコン事業)

パソコン事業の売上高は1,045,793千円(前年同期比7.6%増)となりました。

パソコン事業においては、Windows 10のサポート終了を2025年10月14日に控える中、買い替え需要が増加し、売上高を押し上げました。同様にお客様がお持ちのパソコンのOSをWindows 10からWindows 11にアップグレードするサポートが好評で、売上高も増加しております。

また、eスポーツ向けのゲーミングパソコンの販売も好調で、プログラマーの「こぼやん」とタイアップしたオリジナルゲーミングパソコンを投入する等、販促にも力を入れることでお客様からの注目度も高まっております。

その他、低価格なパソコンをご希望されるお客様には、安価なリユースパソコンの展開も図っております。自社で再生作業を行っているため不具合が少なく、ご購入いただいたお客様から高評価をいただいております。

パソコン専門店として、Windows 10のサポート終了に対し、お客様のニーズに適した様々な対応ができることが競合他社との差別化となり、好調な要因となっております。

(バイク事業)

バイク事業の売上高は55,104千円(前年同期比16.6%減)となりました。

バイク事業においては、店頭での品揃えでは限界があり、商品展開に制約の少ない通信販売へシフトしている傾向が続いておりますので、店頭販売は減少傾向にあります。ただ、店頭販売を行っていることが通信販売における購入時の安心感となっているため、店頭販売も継続して取り組んで参ります。

(インターネット通信販売事業)

インターネット通信販売事業の売上高は918,178千円(前年同期比5.2%減)となりました。

インターネット通信販売事業においては、PC関連商品は前事業年度を上回る実績を上げたものの、売上高の半分を占めるバイク用品の販売が低迷し、前事業年度を割り込む実績となりました。

バイク用品に関しては、日本自動車工業会の調べによると2024年の二輪車の国内出荷台数は前年比15.1%減と市場の落ち込みが大きく、その影響を受けて当社通信販売の実績も低迷しております。商品の品揃えや価格を見直すとともに、夏のツーリングシーズンに合わせて商品をいち早く切替え、夏以降の改善に取り組んで参ります。

2. 不動産事業

不動産事業の売上高は6,390千円(前年同期比98.5%減)となりました。

不動産事業においては、当第1四半期累計期間に想定していた販売が7月以降にずれ込むこととなり、売上高の減少を招きました。その他、交渉中の案件も含めて早期の成約を目指し、上期で挽回できるように取り組んで参ります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

・資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて315,527千円減少し、5,107,946千円となりました。その主たる要因は、現金及び預金が169,360千円、売掛金が148,069千円、商品が152,074千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債については、前事業年度末に比べて296,998千円減少し、2,192,816千円となりました。その主たる要因は、買掛金が154,349千円、長期借入金が106,687千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産については、前事業年度末に比べて18,528千円減少し、2,915,130千円となりました。この結果、当第1四半期会計期間末における自己資本比率は57.1%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月13日に公表いたしました「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載した業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,246,734	1,077,373
売掛金	504,157	356,088
商品	1,928,075	1,776,000
販売用不動産	14,865	170,513
その他	194,287	210,539
貸倒引当金	△280	△272
流動資産合計	3,887,839	3,590,243
固定資産		
有形固定資産		
土地	754,978	718,343
その他(純額)	164,805	158,191
有形固定資産合計	919,784	876,534
無形固定資産	10,228	8,908
投資その他の資産	605,621	632,260
固定資産合計	1,535,634	1,517,703
資産合計	5,423,474	5,107,946
負債の部		
流動負債		
買掛金	630,220	475,870
1年内返済予定の長期借入金	406,730	385,046
未払法人税等	84,955	36,403
賞与引当金	32,355	13,513
契約負債	290,775	278,423
その他	158,679	202,818
流動負債合計	1,603,715	1,392,075
固定負債		
長期借入金	771,698	686,695
長期未払金	4,133	4,133
退職給付引当金	110,268	109,913
固定負債合計	886,099	800,741
負債合計	2,489,814	2,192,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,986	331,986
資本剰余金	324,422	324,422
利益剰余金	2,519,217	2,498,777
自己株式	△259,346	△259,346
株主資本合計	2,916,278	2,895,839
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,380	19,290
評価・換算差額等合計	17,380	19,290
純資産合計	2,933,659	2,915,130
負債純資産合計	5,423,474	5,107,946

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	2,440,256	2,025,467
売上原価	1,841,632	1,462,168
売上総利益	598,624	563,299
販売費及び一般管理費	473,778	465,874
営業利益	124,845	97,425
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	1,527	1,917
有価証券利息	—	1,072
受取手数料	1,487	1,482
その他	752	95
営業外収益合計	3,772	4,572
営業外費用		
支払利息	1,083	1,986
営業外費用合計	1,083	1,986
経常利益	127,535	100,011
税引前四半期純利益	127,535	100,011
法人税等	39,770	32,542
四半期純利益	87,764	67,469

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	7,741千円	7,436千円

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	小売事業	不動産事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,006,594	433,661	2,440,256
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,006,594	433,661	2,440,256
セグメント利益	52,726	72,119	124,845

(注) セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	小売事業	不動産事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,019,077	6,390	2,025,467
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,019,077	6,390	2,025,467
セグメント利益	91,853	5,571	97,425

(注) セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。